

【音戸中学校区 学校教育目標】

夢や志をもち 自ら動き たくましく生活する児童生徒の育成

【音戸中学校区 研究主題】

主体的に学び合う児童生徒の育成

知識・技能

思考力・判断力・表現力

協働的に関わる力

地域の一員として関わる力

学力向上部会

◆ 「わかる」「できる」「次はこうしたい」

生徒指導部会

◆ 居場所・つながりづくり

主体的に参加できる授業づくり

- ・特別支援教育の視点を取り入れた音戸中学校区授業モデルの活用（「わかる」「できる」）
- ・複数の選択肢と自己決定の機会の充実（「次はこうしたい」）
- ・子どもの姿からの研究協議
- ・振り返りの充実と活用

安心して学べる基盤づくり

- ・学習規律の徹底
- ・生徒指導の4つの視点を生かした安心して学べる環境づくり（居場所）
 - ★自己存在感の感受
 - ★共感的な人間関係の育成
 - ★自己決定の場の提供
 - ★安全・安心な風土の醸成
- ・感情コントロールトレーニング
- ・学級・縦割り班・児童会生徒会活動の充実
- ・異学年交流（つながり）の充実
- ・情報モラル教育の充実

基礎学力向上の取組

- ・児童生徒のつまずきの要因分析
- ・授業冒頭の「確認タイム」
- ・乗り入れ授業の充実

地域の環境・人材を活用

- ・カリキュラムマップの活用
- ・「人」「もの」「こと」のつながりを意識した単元づくり

がんばりを認められる場の設定

- ・各学校の実態に応じた様々な表彰

基本的な生活習慣の定着

- ・早寝・早起き・朝ごはん
- ・保護者を巻き込んだメディアルール確立

体力向上の取組

- ・陸上記録会小中連携
- ・「くれ・チャレンジマッチ・スタジアム」
- ・体力テスト分析

生活向上部会

◆ 自ら健やかな心身をつくる取組の工夫